

河川工作物アドバイザー会議の経過報告・今後の予定

1 河川工作物の改良状況（平成22年度）

河川名	基数	事業内容	工事の状況
イワウベツ川 (赤イ川)	1基	・スリットダム化	スリット化工事終了
羅臼川	1基	・スリットダム化 ・魚道設置	スリット化予定3箇所のうち、 1箇所完了（23年度完成予定）

※河川工作物WGにおいて改良が適当と判断された13基のうち、12基が改良済みであり、残る1基は改良工事中（23年度完成予定）。

2 遡上モニタリングの状況

- ・イワウベツ川、サシルイ川、チエンベツ川でサケ科魚類の遡上状況等を調査し、改良済みダムの上流まで遡上していることを確認。

3 河川工作物アドバイザー会議における主な議論（平成23年1月25日開催）

- ①スリット化により泥が流出しても定置網に載って被害がでることは考えられない。
- ②全道的には、スリット化により泥が網に付くという苦情は漁業者から出ている。堆砂は除去していくことがよい。また、漁業者や地元との話し合いをもっとすべき。
- ③急流に流路を作ると河床が低下していくので気をつけなければならない。
- ④森林管理局が既にイケショマナイ川で実施したように堆砂を自然に流すことも含めて、世界遺産地域にふさわしいダム堆砂の処理方法についてもっと考えるべきである。
- ⑤会議が改良工事実施後の報告となっており、何のための会議かわからない。

4 今後の予定

- ①遡上モニタリングについての議論を深めるため、3～4月に再度会議を開催
- ②改良に伴うダム堆砂の取り扱い等についての現地検討（23年度）
- ③最後の改良箇所となる羅臼川については、今年度に引き続き改良工事を実施
- ④イワウベツ川（ピリカベツ川）については、23年度もモニタリングを継続

※参考

1 改良工事実施時期とモニタリング調査計画

河川名	工期	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
イワウベツ川										
赤イ川	H18～22	▲	★	▲	▲					
ピリカベツ川	H19		▲▲							
ルシャ川	H18	●●								
サシルイ川	H19		●●							
チエンベツ川	H20～21			●	●					
羅臼川	H21～23				●					

▲：改良工事（北海道森林管理局）

★：改良工事（斜里町）

●：改良工事（北海道庁）

↔：遡上モニタリング期間

注) 上記表の▲、★、●は、それぞれ1基の河川工作物を示している。

羅臼川の河川工作物の改良は、1基の工期が3年となる予定。